

## 令和7年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

## 小規模企業景気動向調査 第2四半期 (R7年7~9月)

## ①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町    内	売 上 額	↘☼	↘☂	↗☀	↗☼	↗☼	↘☂	→☼	→☂	→☼
	仕入単価	→☂	→☂	→☂	→☂	→☂	→☂	↘☼	→☂	→☼
	採 算	→☼	↘☂	→☂	↗☼	↗☂	→☂	→☂	→☂	→☼
	資金繰り	→☼	→☼	↘☂	↗☼	→☼	→☂	→☼	→☼	→☂
	業界の業況	→☼	↘☂	↗☼	↗☼	↗☂	→☼	→☼	→☂	→☂
北 信		↘悪化		↗改善	↗改善		↘悪化	→不変		↗改善
県 内		足踏み状態にある								
全 国※		↘-31.1		↗-8.4	↘-38.1		↗-13.7		↗-17.3	↗15.4

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

## ② 景気動向報道及び特記事項

## 《町内》

省エネルギー関連投資を引き続き実施して行く(機械部品製造業)

物価高騰によりメニューの価格改定を実施する予定(飲食店)

熊出没による風評被害が心配である(ペンション経営)

職人不足で工期が遅延気味で新たな需要に追い付かない(建設業)

## 《北信》

自動車用変速機部品の受注はやや減少しているが大きな変化ない。トランプ関税に注視(部品製造)

相変わらず人手不足と協力業者不足が続いている。加えて資材の高騰が追い打ち(造園)

猛暑で農作物の出来が悪い。味も悪く、イタミも多い(野菜果実卸売)

客室稼働率 99.5%とほぼ満室の状態であった。4 名以上での利用も多く売上高も増加(旅館)

## 《県内》

有効求人倍率は3ヵ月連続で前月を下回る。

## 《全国》

産業全体：現状維持の中、最低賃金引上げの対応が迫られる

製 造 業：全項目でわずかに改善を示すも、持続性に注視が必要

建 設 業：価格転嫁が進む一方、人手不足やコスト高が課題となる

小 売 業：採算は改善したものの、消費低迷で業況悪化が続く

サービス業：観光需要一服し、コスト高で収益悪化が続く

## 参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」